

dbx 160のコントロール

dbx 160の最小限のコントロールは、シンプルな操作性を実現。



dbx 160

スレッシュホールド

スレッシュホールドノブは、コンプレッションが発生するレベルを設定します。スレッシュホールドで設定したレベルを超える信号が入力されたときにコンプレッションされ、スレッシュホールド以下の信号はコンプレッションされません。

設定可能な範囲は-55dB～0dBです。パネルに書かれている数字は、オリジナルのハードウェアと同様に、ミリボルトとボルトを示しています。

スレッシュホールド値を下げ、より多くのコンプレッションが発生すると、通常は出力レベルが低下します。必要に応じて出力ゲインコントロールを調整し、出力を増やして補正してください。

ビローLED

入力信号がスレッシュホールドを下回るとビローLEDが点灯します。消灯しているときはコンプレッションは行われていません。

アバブLED

アバブLEDは入力信号がスレッシュホールドを超えた場合に点灯し、コンプレッションが行われていることを示します。信号がスレッシュホールドを大きく上回るほどLEDが明るく点灯します。

サイドチェインフィルター

サイドチェインには、固定の10 dB パーディケイド(3 dB パーオクターブ)のカスタムリニアフィルターが装備されています。サイドチェインフィルターを使用すると、コンプレッサーのコントロールサイドチェインから低周波数帯の不必要な部分を取り除くことができ、低域の多いオーディオ信号の過度のゲイン低下や“ポンピング”が発生を減少させることができます。

機能を切り替えるには、テキストラベルのPULL / SCをクリックするか、シフトキーを押しながらスレッシュホールドノブをクリックしてください。サイドチェインフィルターがアクティブな場合、スレッシュホールドノブはリフトされ、わずかに大きくなります。

注: サイドチェインフィルターは、コンプレッサーのサイドチェイン信号にのみ作用します。このフィルターは、ダイナミクスの動作が聴覚的にわかる範囲の動作をしますが、元のオーディオ信号には影響を与えません。

コンプレッション

コンプレッションパラメーターは、コンプレッサーのレシオを決定します。低い値ではコンプレッションが少なくなります。使用可能な範囲は、1.00:1~∞:1まで連続して調整可能です。約10:1を超える値では、ピークリミッターのように動作します。

注: コンプレッサーを作動させるには信号がスレッシュホールドを超えている必要があります。

アウトプットゲイン

プラグインから出力される信号レベルをコントロールします。使用可能な範囲は±20 dBです。

ヒント: テキストラベル“0”をクリックするとコントロールをデフォルト値に戻すことができます。

一般的に、スレッシュホールドやコンプレッションコントロールで必要な量のコンプレッションが得られた後、ゲインリダクションによって低下したレベルをアウトプットコントロールを使用して補正します。アウトプットはコンプレッション量に影響しません。

メーターセレクト

これらのボタンは、VUメーターに表示される情報を選択します。オーディオ信号の音は変わりません。アクティブな(押された)状態のボタンは、非アクティブなボタンと比較すると、外観が暗くなります。

インプット – プラグインのインプットレベルをdB単位で示します。

アウトプット – プラグインのアウトプットレベルをdB単位で示します。

ゲインリダクション – プラグインのゲインリダクションレベルをdB単位で示します。

VU メーター

アナログスタイルのVUメーターは、メーターセレクトボタンで選択されたものを表示します。POWERボタンでプラグインを無効にすると、メーターは消灯し、針は0dBのままになります。ホストアプリケーションによって無効にされると、針は消灯しますが、針は最小位置に戻ります。

ミックス

プラグインでコンプレッションされた信号と元のドライソース信号をブレンドする出力バランスは、ミックスコントロールで調整できます。ミックスは、DAWで新たにルーティングを作成することなく、パラレルコンプレッション行うことができます。

ミックスが完全に反時計回りに設定されている場合、ドライソース信号のみが出力されます。完全に時計回りに設定すると(デフォルト値)、ウェット信号のみが出力されます。50%に設定すると(ネジの“ドット”が12時の位置にある場合)、ドライ信号とウェット信号の両方が均等にブレンドされて出力されます。バランスは、コントロールの範囲全体で連続的に可変が可能で、位相は正確に保たれます。

ヒント: コントロールの左側にあるラベル“dbx”をクリックすると、値を10%減らし、コントロールの右側にあるラベル“160”をクリックすると、値を10%増やし、ラベル“MIX”をクリックすると、値を50%に設定することができます。

パワー

パワースイッチがオンになっていて、VUメーターが点灯しているときにプラグインはアクティブ(オン)になります。電源ボタンをクリックして、状態を切り替えることができます。

パワーがオフに設定されている場合、すべてのプラグインプロセッシングは無効になり、UAD DSPの負荷が軽減されます(UAD Meter & Control PanelアプリケーションでDSPLoadLockが有効に設定されていない場合)。



オリジナルのdbx 160ハードウェア